

ネパールに養護学校を

AMD A着工
子ども病院に
高校生が呼び掛け

国際医療援助団体、AMD A（本部・岡山市、アジア医師連絡協議会）がネパール・プトワル市に6日着工する子ども病院の敷地内に、養護学校を建設する運動を岡山県内の高校生グループが始めた。病院で治療を終えた子どもたちが、リハビリなど自立のための訓練をしながら学べる施設にする計画で、建設費のうち100万円を目標に募金を呼び掛けている。

グループは、「AMD A高



校生会」として1995年9月に結成。高校生約25人が参加し、AMD A本部でボランティア活動をしてい

る。今年8月に6人がネパールを訪れ、養護学校やストリートチルドレンの現状を見て回った。帰国後、養護学校の併設を提案。建設には約300万円かかる見込みで、うち100万円を集め、残りは地元企業など

ネパールでの養護学校建設を目指し話し合うAMD A高校生会メンバーら＝岡山市のAMD A本部

が協力する計画という。

子ども病院建設は、AMD Aと毎日新聞のタイアップ事業で、来年6月の開設予定。現地を訪問した同会代表の泉立岡山一宮高校2年、三原洋一君(16)は「生活は貧しいけれど、子どもたちは明るかった。僕たちも何か役に立ちたい」と話している。問い合わせはAMD A本部内の同会(086・284・7730)。

【石川 隆宣】